

「暴風雪災害への備え」



宗谷地方では、ひと冬に数回は、猛烈な暴風雪に見舞われます。

暴風雪による災害は、ふぶきや吹きだまり、なだれによる道路の通行止めや鉄道・航空機の運休などの交通障害他、湿り雪の場合、電線着雪等による停電、ビニールハウスの倒壊や樹木の枝折れといった被害も発生することになります。

～暴風雪のときの過ごし方は～

- 気象情報に注意して、暴風雪が予想される時は、外出を控えましょう。
- 停電に備えて懐中電灯、携帯ラジオの準備をしておきましょう。

ふぶきなどのときに外出する場合は、できるだけ公共交通機関を利用するようにし、止むを得ず車を使う場合は、見通しが悪かったり、吹きだまりの発生なども予想されますので、次の点に注意しましょう。

～ふぶきで車が動けなくなったときは～

- 大雪や吹きだまり等で車が立ち往生した時は、道路緊急ダイヤル（短縮ダイヤル：#9910）やJAF等のロードサービス（短縮ダイヤル：#8139）、近くの人家などに必ず救助を求めてください。
- 避難できる場所や救助を求められる人家がない場合は、消防（119番）や警察（110番）に連絡するとともに、マフラーが雪に埋まらないように定期的に除雪し、窓を少し開けて換気を行うなどして、一酸化炭素中毒にならないように注意し、車の中で救助を待ってください。

～暴風雪は、台風などと同様に数日前から予報などで備えることができます。～

週間天気予報を利用し、「雪」と「ふぶき」のマークを確認して無理のない計画を立てましょう。

出発当日は気象台が発表する注意報・警報（大雪や暴風雪の警報が出ていないか）などを確認しましょう。

稚内地方気象台では、暴風雪などにより被害の発生が予想される時には、半日～1日前に予告情報を発表して以下のような文言で具体的な注意を呼びかけています。

- 想定される状況を説明
 - ・車が埋まるほどの大きな吹きだまり
 - ・視界がまったくきかない猛ふぶき
- 天気の急変
 - ・現在は（晴れて）風が穏やかですが、○○には急激に風雪が強まり猛ふぶきとなるでしょう。
- 過去事例（このような過去事例の表現は最大級の災害を想定して行なわれます）
 - ・平成○年×月△日の暴風雪に匹敵する大荒れの天候
- その他
 - ・屋外での行動は非常に危険です。
 - ・屋外での行動は極めて危険な状態となるでしょう。

これらの気象情報を上手に利用し、暴風雪の季節を安全に過ごしましょう。

問い合わせ先 稚内地方気象台防災指導係(電話:0162-23-2679)
 稚内地方気象台HP [http:// www.jma-net.go.jp/wakkanai/index.html](http://www.jma-net.go.jp/wakkanai/index.html)



十一月定例俳句会

幌延ほおずき俳句会

- 冷やかに葬送の鐘流れくる
横山 貞雄
- 砲弾は外の国なれど心冷ゆ
富樫とも子
- 冷やかに笑いとばされ石を蹴る
熊谷千恵子
- 今朝のゴミ冷やかに出スステーション
佐藤 光朗
- 荒縄で繋げし大根冷やかに
田中 徹男